

令和7年度常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会 会議録 【要旨】

【日 時】 令和7年12月22日（月）午前10時00分～午後0時00分

【場 所】 常総市役所石下庁舎会議室1

次 第

1. 開会
2. あいさつ
3. 会議・資料等の公開について
4. 協議事項

常総市立小中学校適正配置実施計画に基づく「小学校の第2段階における統合計画」について

- ・本市「適正配置実施計画」の具体的方針（資料1：報告のみ）
- ・大生小と五箇小による統合計画について（資料2）
- ・玉小、石下小、豊田小による統合計画について（資料3，別紙1・2）

5. その他
6. 閉会

出 席 者

委 員：石塚 剛委員，吉原 晴照委員，馬渡 剛委員，  
篠崎 孝之委員，橋本 武夫委員，中久喜 幸男委員，瀬高 欣一委員，  
大塚 泰之委員，中野 公之委員，大久保 莊志委員，福田 雅史委員，  
大谷 学委員，稲葉 英一郎委員，芦ヶ谷 嘉代子委員，  
清家 康浩委員，宮内 裕子委員，飯田 靖宏委員

事 務 局：服部 仁一教育長，倉持 敏教育部長，平塚 秀樹学校教育課長，  
高野 慎吾教育政策室長，木村 実教育政策係長，  
中村 俊介教育政策係主幹，渡邊 真唯教育政策係主事(記録者)

事務局

本日は、大変お忙しい中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

皆さまお揃いになりましたので、これより「令和7年度 第1回常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会」を開会いたします。

まず初めに、本検討委員会は、常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会設置条例第6条において「委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」とされておりますが、本日の出席委員は、21名中17名となっており、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

では、ここで配布資料の確認をさせていただきます。

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 席次表
- ・ 資料1：本市「適正配置実施計画」の具体的方針（黄）
- ・ 資料2：大生小と五箇小による統合計画について（青）
- ・ 資料3：玉小・石下小・豊田小による統合計画について（緑）
- ・ 別紙1：候補地の比較検討一覧表
- ・ 別紙2：各候補地における「利点と課題」
- ・ アンケート結果

以上、9点となります。

資料の不足等ございませんでしょうか。それでは、次第の2に移らせていただきます。

本日お集まりいただきました皆様に、議事に先立ちまして、教育長よりご挨拶申し上げます。

教育長

令和7年度第1回常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会の開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます、新たに委員をお引き受けいただいた皆様には、快くご協力くださり重ねてお礼申し上げます。

常総市の人口は、平成16年の67,551人をピークに減少傾向に転じております。児童数は昭和59年頃まで増加し、6,289人となりましたが、その後減少し、令和2年度にはピーク時の約半数にあたる3,023人となりました。ちょうどその年の令和2年度から大花羽小学校は複式学級を有する編成となりましたが、委員の皆様にご尽力いただき策定した「小中学校適正配置実施計画」に基づき、令和5年4月に小学校における第1段階として市内初の適正配置である大花羽小学校と菅原小学校の統合を実施しました。これにより複式学級の解消を図るとともに、児童のより良い教育環境と学習環境の充実を進めてまいりました。

また中学校では、適正配置実施計画に基づき閉校となった鬼怒中学校が、最後の卒業生を送り出し多くの方に惜しまれながら令和7年3月末をもって50年の歴史に幕を下ろしました。

全国的にも小中学校の適正配置が進む中、文部科学省の学校基本調査では過去10年間で学校数が約2,400校減少するなど、各地で適正規模に関する議論が行われていま

す。本市におきましても、検討委員会の皆様にはこれまでも「児童生徒の学びの質の向上と保障」を柱にご議論を重ねていただいております。

本日は、実施計画に基づく小学校における第２段階の計画として、昨年度から協議を進めている「五箇小学校と大生小学校の統合計画」と、「玉小学校、石下小学校、豊田小学校の統合計画」について、進捗状況のご報告と今後の統合方針案をお示いたします。

五箇小学校は既に複式学級を有しており、大生小学校についても今後学級数が減少する傾向にあります。玉小学校・石下小学校・豊田小学校につきましては、この３校に限った話ではございませんが、学校施設の老朽化が進行している状況です。

これら２つの計画は、児童数の推移や地域性に違いがあるため委員の皆様にはご苦勞をおかけすることと存じますが、適正配置を実施するにあたっては「保護者や地域の皆様の声を丁寧にお聞きし、柔軟に対応する」方針を基本とします。できるだけ多くの方々のご意見を直接伺える場を設け、十分にご理解を得ながら進めてまいりたいと考えております。

これからの時代を担う子どもたちの未来のため、本日お集まりの皆様にはそれぞれのお立場から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、私の挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局

本日の会議は今年度初めての会議になりますので、本来であれば、委員の皆様お１人お１人ご紹介させていただく、或いは、自己紹介をお願いするところでございますが、本日は、協議事項・協議内容に相当なボリュームがあると考えておりますので、大変恐縮でございますが、皆様のお手元にご用意いたしました席次表をご参照いただくことで、ご紹介に代えさせていただきたいと存じます。何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。

１０名の委員は、今回の会議から新たに当検討委員会の委員になられ、ご出席いただいております。新たに委員となられた皆様には、お手元に委嘱状を配付させていただきますので、ご確認くださいようようお願いいたします。

また、当委員会の会長であります教授は、本日は、オンラインによりご参加いただいております。会長には、のちほど、改めて会議の進行をお願いすることといたします。

ここで、事務局を私からご紹介いたします。

（事務局紹介）

改めまして、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

次第の３「会議及び資料等の公開」について、本検討委員会は、教育委員会の附属機関であり、有識者・各分野の代表者の皆さまから、市の行政に対するご意見を伺う審議会等でございます。

市としましては、これらの会議については「行政の透明性」また「公平性」を高める

ため、原則として公開する方針となっております。

つきましては、本会議におきましても昨年度に開催した検討委員会と同様、公開いたします。

また、会議資料につきましても原則公開することといたしますが、資料によりましては審議途中の内容を含む場合もございますことから、慎重に内容を精査した上で、市 HP において公開する予定であります。

なお、会議録につきましては、会議の終了後、会議要旨（発言者氏名を除いた形式のもの）を作成し、市 HP において公開するものといたします。

「会議及び資料等の公開」については以上となります。

それでは、次第の 4「協議事項」に移らせていただきます。ここからは「本検討委員会設置条例第 6 条」に基づき、本日はオンラインでご参加いただいております会長に、議事進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

会長      これより議長を務めさせていただきます。円滑な議事運営に皆様のご協力をお願いいたします。

では、次第に従いまして議事を進めます。

次第の 4「協議事項」として、本日は 3 つの議題がございます。その中で、1 点目が資料 1 による「本市・適正配置実施計画の具体的方針について」となりますが、こちらにつきましては事務局から「報告のみ」と伺っております。

その後、資料 2「大生小と五箇小による統合計画」について、資料 3「玉小・石下小・豊田小による統合計画について」の 2 点について事務局からご説明いただき、それぞれ委員の皆様にご協議いただくこととなります。

それでは、まず「資料 1 に基づく報告」からお願いいたします。

事務局      資料 1：本市「適正配置実施計画」の具体的方針（資料に基づき報告）  
資料 2：大生小と五箇小による統合計画について（資料に基づき説明）

会長      ただいま事務局から「資料 2」について説明がございました。  
ご質問・ご意見等ございますでしょうか。

委員 A      文科省はスクールバス乗車基準を自宅から学校まで 4 キロ以上としているにも関わらず、大花羽小の統合時には該当児童が少なかったため 4 キロ未満でも乗車認めたようですが、現在の地域の生徒数を考えた際に、何名ぐらいがスクールバスに乗る可能性があるか調べていますでしょうか。

事務局      現在そこまでの調査はしておりません。  
ただ、令和 5 年 4 月から市として初めて菅原小学校へ向けた 21 人乗りバス 3 台を 3 ルートで運行しています。

	<p>菅原小では通学距離が4キロを超える児童は約5人で、実際には3キロ以上の児童を乗せているものの座席は満席になっていません。</p> <p>五箇大生の計画については、統合準備委員会でスクールバスの搭乗可能人数などのデータを抽出し、必要な情報を提供しながら進める予定です。</p>
委員 A	<p>進めるにあたって一番大切なのは、将来の子どもたちのことを考えることです。複式学級の場合は中学校進学後にどのような影響が出るかを十分検討し、子どもたちのことを考えて進めていただきたいと思います。</p>
委員 B	<p>今のご説明を聞いて将来性を見据えて、子どもたちの学びの環境を考えれば統廃合は致し方ないと思いました。</p> <p>ただ、五箇小大生小のスケジュールについては、非常にタイトになっていると思います。</p> <p>今のご説明の中で、令和8年の7月から9月には市議会にこの内容を提出することになるかと思いますが、スクールバス等の話も出ておりますが、予算の確保も必要になるかと思っています。</p> <p>色々な意見が出ていますが、意見をどう反映していくかが、前に進むために大事なことになります。</p> <p>スクールバスについては、確認してみると、福二から大生小学校まで7.5キロあり、徒歩では無理ですし、逆に言うと川崎から大生小学校だと2キロになってしまうため、スクールバスでキャッチアップする人数は早急に出していかないといけないですし、地域によってはきぬの里から絹西小学校のスクールバスは出ていますが、同じ地区内で坂手地区から絹西小学校までの距離はそこまで変わらないのにスクールバスに乗れない児童もいるのだという平等性を言われるケースもございます。</p> <p>こういったところを配慮して、統合準備委員会の方で明確にお示ししていただき、統廃合に向けて進めていただきたいというご要望をあげさせていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>私どもも日程が非常にタイトであると感じております。</p> <p>大花羽小と菅原小や鬼怒中学校等の過去の事例を精査して無駄のないように進めていければと思っております。</p> <p>スクールバスについてはご要望が多く、アンケートや意見交換会でも多くのご意見をいただいています。現に菅原小スクールバスが運行されている事例を踏まえて進めていきたいと思っています。</p> <p>平等性については、いろいろな方のご意見を伺いながらより良い方針を定めていきたいと思っております。</p>
委員 C	<p>大生小と五箇小で約4mの標高差があるという話は、区長から出た意見です。ただし</p>

区長はそれを自身の個人的見解として述べているのではなく、地元の々の意見を代弁して発言している点を誤解しないでいただきたいです。

子どもたちのために合併を妨げるつもりはありませんが、合併に反対する人たちを説得するのは区長だということを忘れないでいただきたいと思っています。

また、五箇と大生の合併だけが話題になっていますが、三妻も加えたいと考えています。既に商工会では令和9年の4月1日のまさしく五箇と大生が合併する年から大生三妻五箇の頭文字を取って「だいさんご支部」として大生三妻五箇を一緒にすることが決まっています。

教育と経済は切り離せないため、都市計画や住宅政策、人口減少対策と連動して20～30年年後を見据えた住宅や工場店舗などの誘致を先行して進める必要があると思います。

スケジュール面では令和9年4月1日の合併日は動かさないため、まず大生小へ児童を移したうえで三妻に対する説明を行い、三妻小を大規模改修や増築をして起点校として三校をまとめることを提案します。三妻は道の駅やアグリサイエンスバレーや市街化区域が多く伸びしろがあるのに対し、大生は調整区域が多く三妻や五箇に比べると伸びしろが乏しいため、水海道小学校への合併の前段階として、3地区の合併を提案します。

事務局

大生小学校との統合案は非常にタイトなスケジュールで進められていますが、令和9年4月1日を統合日にするということについては、前に進めていくべきだというご意見をいただけたかと思います。

今後は区長さんにご尽力をいただくことになるかと思いますが、その点については改めてお願いを差し上げたいと思います。

また、三妻地区については現時点では統合の考えはありませんが、もし検討する場合には教育委員会だけでなく都市計画課とも連携し、新たな計画を策定する必要があります。三妻地区を含めるかどうかについては、検討委員会内で児童数や学級数の推移に基づいてご意見を伺うことも必要になるかと思います。これらのデータも検討材料として活用し、皆様からのご意見を伺った上で慎重に判断させていただきたいと考えています。

委員 C

大生小は洪水の影響を避けられないことを年配者に説明しても納得されていないため、最終的に三妻が拠点となり移転する未来像を示す必要があると思います。

経済と教育の一本化についても行っていただき、大生と五箇の合併は確定した日程があるため、皆で協力して進める必要があります。

委員 D

大生小と五箇小の交流事業について、意見がありましたが、今年度はすでに5、6回実施されています。校外学習や水泳学習も大生小と連携して行われており、来年度も同様に予定されています。

地域の心配事は水害であり、校長としては子どもや職員の安全を確保する取り組みを

	<p>行っていただきたいです。特に水害時の避難方法や保護者への引き渡しについての不安があり、これらを考慮した計画を入れていただければと思います。</p>
事務局	<p>教育委員会としては、防災教育に力を入れ、安全安心に学校生活が送れるようにしていきたいと考えております。</p>
委員 F	<p>検討委員会と統合準備委員会の役割りの違いについて教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>当委員会は、統合実施計画に基づいて進捗状況を報告し、PDCA サイクルを通じて今後の方針を検討します。</p> <p>統合準備委員会は約 25 名で構成され、円滑な統合を目指し、役割ごとに集まります。統合準備委員会の中から、総務部会や学校運営部会などの詳細な検討行う部会が設けられ、それぞれの役割に応じた議論が進められます。各部会で決定した内容は全体会に報告され、準備委員会としての意見がまとめられます。</p>
委員 F	<p>令和 9 年 4 月 1 日に統合校が大生小学校として統合されるというのは、当委員会が終わったら承認されたことになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>ご意見の中で多くの反対がなければ、ここに出席された皆様には承認をいただいたということになります。そして、いただいた意見をもとに、1 月に市長に報告し、今後の方向性を確認する考えでございます。</p>
会長	<p>続いて、資料 3「玉小・石下小・豊田小による統合計画」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料 3：玉小・石下小・豊田小による統合計画について(資料に基づき説明)</p>
会長	<p>ただいま事務局から「資料 3」について説明がございました。</p> <p>ご質問・ご意見等ございますでしょうか。</p>
委員 G	<p>私は豊田地区に生まれ育ちましたが、当時は同じ敷地内に小学校と中学校が存在していました。</p> <p>現在、小学校だけでなく中学校の生徒数も減少していることを考慮すると第 4 の候補地として石下中学校はどうかと考えております。そうすることで土地の買収や道路の改修などが必要なくなると思います。</p>
委員 A	<p>つくばみらいでは生徒数が増え、物価高の影響もあり、校舎建設に 100 億円を投じた実績もあります。子どもたちのことを考えると、必要なタイムスケジュールや予算について早急に検討する必要がある、そうしないと進展が見込めないと思います。玉小</p>

の知人からは、玉小から石下中への進学時に現在のコミュニティが狭いことから不安との意見が寄せられています。子どもたちのために、教育長が中心となって具体的なスケジュールを立てて進めてほしいと思います。

事務局

候補地についてですが、今後は新たに石下中学校を4つ目の選択肢として検討していきたいと思います。小学校と中学校が同じ敷地内にあることで、経費の削減が期待できると考えられます。しかし、中学校には遊具が設置されていないため、その整備も必要になると考えられます。

スケジュールについては、追いついていないため、申し訳なく思っております。

次回の検討委員会では、活発な意見交換が行えるような資料を準備し、議論を深めていきたいと考えています。

委員 H

第4案について、同じ敷地内に建てる場合、義務教育学校という形を取るか、併設校とするかを検討する必要があります。石下中学校の敷地内に新校舎を建てる場合、騒音や行事への影響が懸念され、また校庭にプレハブ校舎を建設することでさらに騒音や安全面での懸念が生じます。これらの点を考慮しながら進めてほしいと思います。

会長

ありがとうございました。

ご質問等ないようであれば、このまま次第の5「その他」に移らせていただきます。

事務局からありますか。

事務局

今後の直近での予定について、ご連絡いたします。まず年が明けて1月の早い段階で、市長・副市長・教育長へ、改めてこれまでの進捗状況を報告いたします。

玉小・石下小・豊田小の統合計画については「拠点校となる候補地の選出・選定状況」について報告し、大生小と五箇小の統合計画については、本日この検討委員会で検討した今後の方向性や、委員の皆様からいただいたご意見等を報告すると共に、「統合に向けた今後の方針決定」についてご判断いただくことを想定しております。

その後、年度内2月中を目途に「第2回 検討委員会」の開催を予定しております。大生小と五箇小の統合計画に関する協議内容につきましては、市長・副市長・教育長への報告結果によるものとなりますが、玉小・石下小・豊田小の統合計画については、引き続き「拠点校となる候補地の選定」を委員の皆様と行っていきたいと考えております。

日程等の詳細につきましては、決定次第、早期にご連絡・ご通知させていただきます。何卒ご理解いただきますよう、お願いいたします。

また、大生地区・五箇地区の「合同説明会」につきましても、開催に向けた検討を引き続き行いまして、開催が決定した際は、速やかに開催に向けた調整・準備を進めてまいります。

なお、本日お配りしました資料につきましては、学校の適正配置（統廃合）という性質上、非常にデリケートな内容を収めた資料となっております。資料3につきまして



は、「民有地を活用させていただく案」も掲載してございますことなどから、そのお取扱いに関しましては十分にご留意いただきますよう、お願い申し上げます。  
事務局からは以上となります。

会長

それでは、以上を持ちまして本日の協議を終了し、議事の進行を事務局へお返しいたします。  
委員の皆様、ご協力ありがとうございました。

事務局

今後も、子どもたちの良好な学習環境の確保に向け、ご協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

それでは、以上を持ちまして、令和7年度 第1回「常総市立小中学校適正配置実施計画検討委員会」を閉会いたします。

本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。